

令和7年度

奈井江町教育委員会 事務事業の点検 及び 評価報告書

(令和6年度事業対象)

令和7年7月

奈井江町教育委員会

はじめに

昨年度も、「令和6年度 奈井江町 教育行政執行方針」で掲げた施策に基づき、児童生徒や町民の学びの活動の推進に意を用いながら、学校運営や生涯学習事業を推進してきました。

教育行政では、コミュニティ・スクールにて学校評価はもちろん、体験活動のあり方、学校を支えていく仕組みなどのほか、子どもたちのスマホ依存の改善などについての熟議を行いました。小中高の子どもたちが町長とまちづくりや子どもたちからの要望について意見交換を行う町長と語る会では、小学生の発案による「まちを知る」をテーマとするスタンプラリーを実施したり、子ども会議では、産業まつりでの出店や芽室町とのオンライン交流など、子どもたちの主体的な活動が行われました。

学校運営では、授業や行事など学校生活の中でタブレットの活用が恒常的となる中、AI 型の学習教材を活用し児童生徒一人ひとりの習熟度に合わせた学びを深め意欲的に取組める授業づくりを進めてきたほか、小中学校の教室にエアコンを整備し学習環境の改善を図りました。

小学生（3～6年生）を対象とする公設塾「ななかま」では、次年度に対象を中学生まで拡充することを視野に入れ 12 月からの約 4 か月間、プレ開塾を行いました。

生涯学習関係では、コンチェルトホールでの自主事業や地域おこし協力隊と共に様々なコンサート等の音楽イベントを開催する中で、著名なアーティストを招聘し、町外からの交流人口にも寄与することができました。

また、社会教育センターにエアコンを整備し施設の環境改善を図りました。

スポーツ関係では、コンディショニング事業の普及に努め、新たに町内企業で行う教室開催まで拡充しました。

これら令和 6 年度に教育委員会が取り組んできた主要な施策や事業について過日、外部評価委員による点検と評価を行っていただき、本書にまとめました。

令和7年7月

奈井江町教育委員会

目 次

1	学校教育を充実します	1
2	豊かな心と健やかな体の育成を推進します	2
3	快適な学習環境の整備を推進します	4
4	多様な教育機会の支援を推進します	5
5	子どもの健全な育成を推進します	6
6	生涯学習活動を推進します	7
7	楽しく参加できる生涯スポーツを推進します	8
8	個性豊かな芸術文化を推進します	9

○外部評価会議 開催日

令和7年7月2日（水）

○外部評価委員

新田一寛、井澤一美、田口友子

令和6年度 教育委員会 事務事業の点検及び評価

1 学校教育を充実します

- ① 子どもたちの主体性を育んでいく授業を推進していくため、タブレット端末に導入する AI 型の学習教材を活用し、一人ひとりの習熟度に合わせた最適な問題、苦手科目の解消や得意科目の伸展を図っていきます。
- ② 公設塾「ななかま」は、毎日の学習習慣を見つけさせ基礎学力の定着、苦手意識克服を目的に自学自習のほか、特別授業では「まちの先生」による特別授業や体験活動を月 1 回程度行います。
- ③ 町費による特別な支援を必要とする児童生徒が学ぶための支援員の配置や 2 名の英語指導助手を 1 名ずつ小中学校に配置し、かつ認定こども園や奈井江商業高校にも派遣するなど、安心できめ細かな学習環境を継続します。

①	実施状況	・小学校（179 名）中学校（93 名）ともに様々な授業や行事、生徒会等で、タブレット活用が行われている中、授業はもとより宿題、家庭学習において AI 型の学習教材を活用した。
	自己評価	・児童生徒 1 人ひとりの習熟度に合わせた最適な問題が提示され、達成感を味わいやすく、学習意欲を高めることができるとともに苦手科目の解消や得意科目の伸展を自分のペースで効果的に学習することができるほか、教職員も児童生徒への問題提供等、効率的に学習を進めることで業務負担が軽減され、学校現場の働き方改革にも貢献した。
②	実施状況	・小学 3～6 年生 計 50 名（通塾率 40%）が通塾し、各学年の状況や課題の共有、運営に関する協議など、小学校と連携しながら、自学自習の支援をはじめ、文章問題等のミニ授業を行いました。特別授業では円山動物園の象の飼料づくりなど、体験型の取り組みも行いました。長期休業期間には、「子ども朝活推進事業」と連携し、学習活動や よさこい演舞、合唱、調理など、様々な体験活動を実施した。 ・次年度に公設塾の対象者を中学生まで拡充するため 12 月からの 4 カ月間、プレ開塾を実施した。
	自己評価	・通塾する児童たちは、宿題やドリル等、当日の学習内容を自ら考え、自学自習に取り組んでおり、また「まちの先生」による特別授業をはじめ、「子ども朝活推進事業」と連携した学習活動や音楽、運動などの体験活動により、知識やスキルを習得するだけでなく、失敗を恐れずにチャレンジしたり、困難を乗り越える力を養い、子どもたちの学びに対する意欲が向上している。

③	実施状況	・ 特別な支援を必要とする児童生徒や保護者に、安心した学習環境となるよう小学校に3名、中学校に1名の支援員を配置。 ・ 小中学校に英語指導助手を配置し、授業サポートや学校生活を通じて発音・コミュニケーションなどを養う活動を実施。認定こども園3～5歳児を対象に発音のルールを学ぶフォニックス学習を用いて英語に親しむ活動を行ったほか、奈井江商業高校への派遣による授業サポートや英検対策など、生徒のスキルアップを支援した。
	自己評価	・ 特別支援教育支援員配置により、生活面や学習面などの支援を行い、児童生徒や保護者が安心できる学校生活に繋がっている。 ・ 英語指導助手の2名体制により、こども園から高校までの町内教育機関で英語活動が充実し、英語への興味やコミュニケーション能力が養われている。

（外部評価会議の意見）

- ・ AI 型の学習教材の活用による一人ひとりの習熟度に合わせたモデルの提供は、教職員や児童生徒共に利点があって高く評価できる。

一方で、表現力が求められるなか、情操豊かな時期にどこまで AI を求めていくのか、漢字の書き取りなど教科によってはノートに書き写すアナログな授業も併用してほしいし作文などに関する AI アプリの活用は、中学生以上などのある程度、国語能力が定着してから使う慎重さが必要ではないか。

- ・ 公設塾ななかまは、小学校と連携して各学年の状況や課題の共有もなされており、高く評価できる。体験型の取り組みや朝活と連携した よさこい演舞や合唱などの体験活動は、子供たちの体験から得られる学びが豊富で、今後もぜひ継続していく大切な事業。

また、一つのテーマを持って数年で取り組めるような仕組みがあれば、継続した体験から得られる経験から子どもたちの意欲を引き出せるのではないか。

- ・ 教育委員会独自の特別支援教育支援員の配置によって、きめ細かい支援が行われ、保護者も安心して学校で教育を受けられるので、これからも継続してほしい

2 豊かな心と健やかな体の育成を推進します

① 奈井江町の基幹産業である農業や地元企業について学ぶ「ふるさと教育」を継続し、子どもたちの郷土愛や将来の夢を育み、社会性を身に着ける学習の推進と、まちを識るための社会科副読本「ないえ」を改訂し発行します。

② 自己の生き方を考え、自立した人間としての成長を涵養するため、学校活動全体を通じた道徳教育を推進します。また、子どもたちへの教育相談などを実施し、

悩みごとの解消や いじめの早期発見、早期対応に努めると共にスクールカウンセラーを配置し、子どもたちの心の成長を支援します。

①	実施状況	・小学校では、農作物を育てながら命の大切さを学ぶ体験学習のほか、町内企業訪問や友好都市岡山県高梁市成羽小学校と交流事業活動等により、地域を学ぶ活動を実施。 ・中学校と高校でも、インターンシップや成羽中学校、高梁城南高校との交流事業、高校の地域探求活動など、地域を学び郷土愛を育む活動が行われた。 ・小学生用の社会科副読本ないえの改訂を行い、教材として活用しやすいよう PDF 版として発行した。
	自己評価	・農業体験や企業訪問、地域探求事業など、地域や人との関わりを通じながら、郷土愛の育みや社会性などを身に付ける貴重な体験に繋がっている。また、友好都市とのオンライン交流により、生活や文化、学校の活動内容の違いなどを学び、知識や見聞を広げる機会となった。 ・社会科副読本をタブレット端末で直接見ることができるようになり、身近に奈井江町を知る機会となり理解を深めることができた
②	実施状況	・学校での授業や行事をはじめ校外活動など、様々な場面を通じて、自身を認めることや他者を尊重する道德教育が実践されている。 ・相談体制の充実を図るためカウンセリングの日数を増やし、いじめや悩みなど学校生活やアンケートを通じながら早期発見に努め、関係機関と連携しながら対応を図った。
	自己評価	・学校生活や日常生活における児童生徒の活動が、道德への関心を高めることに繋がっている。 ・延べ 37 件のカウンセリングを行い、不登校児童生徒や保護者に対するメンタルヘルスや教職員への支援を行い、児童生徒の心身ともに健全な成長に繋がっている。

(外部評価会議の意見)

- ・地元農家や企業と連携して学ぶ ふるさと教育は、体験学習として非常に有効であり、ぜひ継続してほしい。
- ・体験学習は単発の授業ではなく、子どもたちが 1 年間通して関わることで、継続的な経験による学びとなるのではないか。
- ・道德教育としての「自分を認め他者を尊重すること」は大切であるが、その認識がまだ確立していない学齢の子どもたちには、子どもどうしのトラブルを自分たちで解決できるよう、先生たちには過度な関わりをせず、見守っていただく配慮をしてほしい。
- ・スクールカウンセリングは、子どもや保護者に何気ないことでも躊躇なく大いに活用してもらい、先生と連携しながらきめ細かな対応をしてほしい。

3 快適な学習環境の整備を推進します

- ① コミュニティ・スクール（学校運営協議会。以下、CS という。）では、小中学校の運営方針を承認するほか、子どもたち一人ひとりが、生きる力を備えて行くための学びの環境、小学校から中学校までの 9 年間のあり方について、検討を行っていく等「地域と共にある学校づくり」を目指します。
- ② 小中学校エアコンを設置し学習環境の整備のほか、小学低学年のタブレット端末および学習用サーバーの更新、クラウド化等、ICT 環境の整備を図ります。

①	実施状況	各学校、PTA、関係機関等 15 名による小中合同の CS にて先進地の視察や年 6 回の会議を開催し、学校評価をはじめ、体験活動のあり方やスマホ依存の改善等について議論を行った。
	自己評価	小中学校の活動内容を共有しながら「9 年間を通した活動」や学校評価について意見交換し行ったほか、スクリーンタイムの適正化に向けてガイドラインの作成を行うなど、家庭や学校課題の解決に対しても対応を行うことができた。
②	実施状況	- 夏季までにエアコンを設置し、小中学校の教室の適正な室温管理を行うとともに猛暑日の対応として授業中の水分補給、体育授業や部活動の中止等を実施。 - 小学 2 年生のタブレット 30 台を更新したほか、教育系サーバーの更新や校務系サーバーのクラウド化を行った。
	自己評価	- 教室での熱中症対策が不要となり、授業計画に大きな支障をきたすことがなくなった。 - サーバー更新およびクラウド化により情報セキュリティの向上のほか職員室以外の教室でもデータのアクセスが可能になったため、職員の業務効率化が図られた。

（外部評価会議の意見）

- ・コミュニティスクールという地域と学校が共にあるというしくみは非常に重要な考え方であり、家庭だけでは取り組みきれない面も学校や地域で補い合って、社会全体で教育を進めていく事業です。
- ・エアコンを効果的に活用しながら、教室にいる子どもたちが体調不良を出さないよう対策してほしい。
- ・個人情報データの取扱いには、漏えいなどのリスクが伴うので、情報セキュリティの厳格化を徹底し、ヒューマンエラーを起こさないよう十分注意してほしい。

4 多様な教育機会の支援を推進します

- ① 幼小中高の連携による乗り入れ授業や授業交流など、学校間の相互理解と相互支援の充実を図ると共に新入学児童生徒の学用品費の負担が困難な家庭に対する就学援助を継続するほか、給食費の全額助成による無償化を行います
- ② 道立 奈井江商業高校が令和8年度より募集停止となり令和9年度に閉校することが決定しましたが、引き続き高校と連携を図り、在校生に対してスキルアップや探求活動等の支援を行います。

①	実施状況	・小中学校の連携では、「中1ギャップ」解消のため、授業参観や乗り入れ授業、部活動体験などを行い、高校との連携では、中学生に対するプログラミング出前授業や学校生活の様子を伝えるオープンスクールを実施し、認定こども園と小学校の連携では、次年度、小学校へ就学する5歳児を対象に1日入学を実施。 ・小中学校に進学する児童生徒の入学前準備が円滑に進めるため、11名に対し通学用のカバン、上靴、制服などの学用品費の援助を実施したほか、学用品費などの負担が困難な家庭の児童生徒44名に対し援助を実施。 ・児童生徒の給食費の全額助成による無償化を実施。
	自己評価	・幼小中高の連携により、教育活動の相互理解や支援、専門性を深めた授業など、充実した学習内容とそれぞれの課題解消を図る取り組みに繋がっている。 ・給食費の無償化により保護者の負担軽減を図ることができた
②	実施状況	・各種検定や模試への支援、地域探求授業のコーディネートなど、生徒のスキルアップを支援した。
	自己評価	・生徒のスキルアップ活動への支援が、生徒の学習意欲向上や一人ひとりの確実な成長、進路実現に繋がっており、少人数教育ならではのきめ細やかな個別指導に貢献することができた。

(外部評価会議の意見)

- ・中1ギャップ解消のための乗り入れ授業や部活動体験は、子どもたちの不安を取り除くために大変有効な事業であり、継続して取り組んでほしい。
- ・小学校の1日体験では、より小学校生活のイメージを掴んでもらうため、保護者と一緒の給食体験を実施してはどうか。
- ・奈井江商業高校のスキルアップ活動などの支援は、生徒たちの可能性を広げる有効な事業なので、生徒がこの学校を選んで良かったと思えるよう継続してサポートしてほしい。

5 子どもの健全な育成を推進します

- ① 子どもたちの感性を豊かにし情操を育むため、芸術鑑賞会を開催し、小学生中学生にコンサートを開催し、生演奏の迫力を体験させます。
- ② 「子どもの権利に関する条例」に基づき、町長と語る会や子ども会議の活動を支援するほか、子ども会議では「自分達でやってみたい」のほか、広くまちづくりについても議論し実践していく活動を通し社会参加を促進します。

①	実施状況	・芸術鑑賞会では、小中全学年のほか奈井江商業高校も招待し札幌国際情報高校の「SIT-Band」によるダンプレを鑑賞。 ・奈井江中学校校吹奏楽部が PMF アカデミー生や音の玉手箱との連携を行うと共に SIT-Band との共演を実施した。
	自己評価	・音楽鑑賞会の開催により、生の芸術・文化に触れながら情操教育の推進を図った。 ・吹奏楽部の生徒にとって表現力や創造力、活動意識の向上に繋げることで次世代の育成にも努めた。
②	実施状況	・全 11 回に及ぶ子ども会議の活動や小学校 5～6 年生、中学高校全校生徒による「町長と語る会」など、子どもたちの社会参加を支援するとともに、出された児童生徒の意見や考えについては、まちづくり事業の検討事項として活用した。 ・CS 版子ども会議では児童会や生徒会メンバーのほか公募による子どもたちを含めた 20 名を超える委員が意見を重ね、産業まつりの出店や芽室町とのオンライン交流など、主体的な活動を行った。
	自己評価	・各学校で開催した「町長と語る会」を通じ、まちの課題や魅力づくりなど、自らの視点で考え発表する活動により、まちづくりへの参加意欲を促進した。 ・小学 5 年生の発案による町の歴史を知ってもらうイベントとして文化祭に合わせて実施したスタンプラリーでは、自分達で考えて準備し、多くの参加者があったことに達成感と主体的に課題に取り組む力を育むことができた。

（外部評価会議の意見）

- ・子どもたちの感性を高めるため、芸術鑑賞会などの生の芸術、文化に触れることは必要不可欠です。
- ・吹奏楽などは楽しく鑑賞することができたと思うが、クラシックになじめない子どもには、身近なワークショップや奏者の交流を通じた体験もあれば良いと思う。

- ・子ども会議など、意欲のある子どもたちのやる気を引き出す取り組みは大変すばらしく継続してほしい。一方、意欲はあるが一步踏み出せない子どもが発言をしたり活動できる仕組みがあるとよいのでは。
- ・町長と語る会は、主権者教育に繋がっており、自分の想いを町長に直に提案し、実現する経験は大事。仕掛けを工夫しながらで構わないので、継続してほしい。

6 生涯学習活動を推進します

- ①生涯にわたって学習を続けられるよう、個人やサークル、活動の大小に関わらず、発表の場の創設などを通じて活動を支援していきます。また、社会教育センターにエアコンを設置し環境整備を行います
- ② 読書活動の推進のため、乳児期、3歳児、6歳児を対象に絵本を贈呈するブックスタート、セカンド、サード事業を継続するとともに、青空としゃかんやノーゲームデーのほか、毎月1回図書館で子ども達が騒いでもよいキッズデーを行います。また、図書館と小中学校の図書室を連携するシステムの更新を行い図書環境の改善を図ります。

①	実施状況	・公民館講座 (1) フラダンスレッスン 1回 参加者 8名 (2) アイヌ文様刺しゅう体験講座 1回 参加者 11名 (3) 親子でわくわくリトミック 4回 参加者 8組（延 52名） ・第61回 総合文化祭 - 展示 11月2日～4日 17団体 3個人 697名 作品数 872点 - 芸能 11月3日 7団体 42名 ・町民ギャラリー展 5月7日～6月9日 6団体 45名 個人 2名 作品数 215点
	自己評価	・総合文化祭や町民ギャラリーの実施により、個人や団体の創作意欲向上に繋がっている。 ・公民館講座では要望を考慮しながら開催。町民の学習機会を提供する講座として、ニーズを捉えながら、学び続けていく活動に繋げていけるよう努めていく。
②	実施状況	・ブックスタート事業を皮切りにブックセカンド事業やブックサード事業など、乳幼児から各成長期に応じた読書推進活動を実施。 (1) ブックスタート事業 17組の親子に配布 (2) ブックセカンド事業 46名（3歳児 21名・保護者 25名） (3) ブックサード事業 28名 ・キッズデー 毎月最終土曜日

	自己 評価	・親子で絵本に触れる機会を皮切りに、各成長期に応じた事業を行い、乳幼児期からの読書活動に繋げている。 ・キッズデーにより、少しずつ子どもの来館者が増加している傾向であるため、今後も継続して実施していきたい。
--	----------	--

（外部評価会議の意見）

- ・総合文化祭は、個人や団体の貴重な発表の場となっており、活動意欲の向上に繋がる大事な取り組みと考えるが、盛り上がりには欠ける印象を受けるので、小学生のスタンプラリーのような町民がふれあえる、全体を巻き込むような取り組みがあるとよいのでは。
- ・公民館講座は、学びのきっかけづくりとしてできる限り縮小せず、無理なく継続してほしい。
- ・図書事業では、小学生が読書への興味につながるワークショップやグループワーク、ビブリオバトルといった新しい取り組みを取り入れては。

7 楽しく参加できる生涯スポーツを推進します

- ①各年齢層に合わせた運動教室の開催など、体育施設の指定管理者や関係機関と協力しながら、町民のスポーツ活動の継続を確保します。
- ②一般社団法人ないえ共奏ネットワークと協力しながら、「生涯活躍のまち」の実現に向けた「多世代健康・安心・活躍フィールド」などの事業を協働します。

①	実施 状況	・体育館及び町民プールの自主事業（指定管理者が実施）			
		体育館	ソフトテニス教室 ミニバスケット教室 体育教室	延 118 日 延 43 日 延 15 日	1,003 名 491 名 75 名
		町民プール	こども水泳教室 水中ウォーキング教室 大人水泳教室	延 48 日 延 16 日 延 31 日	329 名 105 名 104 名
	自己 評価	・指定管理者の自主事業によって、町民の運動意欲向上と運動習慣の定着化に繋げている。			
②	実施 状況	・地域おこし協力隊事業			
		(1) コンディショニング教室	延 684 回	4,585 名	
		(2) 応急処置と熱中症対策	1 回	8 名	
		(3) 奈井江町×東海大学バレーボール教室	1 回	130 名	
		(4) テニピン体験会	3 回	58 名	
		(5) バレーボールトレーニング講座	1 回	6 名	

	自己 評価	・新たに地域おこし協力隊 1 名を任用して 2 名体制とし、コンディショニング事業による幅広い年代での健康づくりと交流活動を大幅に増やし教室のみならず町内企業にまで拡充し、町民の健康増進に繋げている。
--	----------	--

(外部評価会議の意見)

- ・指定管理事業者が行う運動事業が、町民に広く行きわたるよう広報活動を充実させてほしい。
- ・コンディショニングは、生活全般の質の向上につながり、企業や団体での実施は潜在的な利用者増にも繋がっており、継続して普及に努めてほしい。
- ・テニピンは、誰でも手軽にできる楽しいスポーツなので、小学生など色々な場面で取り入れては。

8 個性豊かな芸術文化を推進します

- ① 一般社団法人ないえ共奏ネットワークと協力しながら、「生涯活躍のまち」の実現に向けた「まち中 音楽活躍システム」などの事業を協働し、様々なコンサート、イベントを実施していきます。

①	実施 状況	・文化ホール自主事業 (1) 新社会人激励コンサート 87 名 (2) PMF アンサンブル奈井江公演 108 名 (3) 第 27 回 音の玉手箱 125 名 (4) 海援隊トーク&ライブ 223 名 ・地域おこし協力隊事業 (1) ないえひんやり会 120 名 (2) ないえのゆめぴりかフェス 800 名 (3) ちょっと音痴な音楽会 150 名 (4) ゴスペルライブ 100 名 (5) まち中音楽 3 世代カラオケグランプリ 80 名 (6) こいこいクリスマス 70 名 (7) エレサッピの音楽会 104 名 (8) 思い出楽器市 50 名
	自己 評価	・文化ホールの自主事業では、コンチェルトホールの特徴である優れた音響効果を生かした PMF や音の玉手箱といったクラシックコンサートを開催したほか、著名なアーティストのコンサートにより集客数と交流人口の増加を図ることができた。 ・地域おこし協力隊と共に様々な音楽イベントを実施し、幅広い年代の町民が、文化、芸術に触れる機会を提供した。

(外部評価会議の意見)

- 文化ホール自主事業では、ホールの特徴を活かしたコンサートをさらに開催し、子どもたちを含め多くの人に使い倒してもらえるようにしてほしい。
- 芸術、文化は、生活に潤いをもたらし、関係人口を創っていく取り組みであるため、著名なアーティストのコンサートも含めこれからも楽しませてほしい。
- 地域おこし協力隊による様々な音楽イベントは、多くの芸術文化に触れることができとてもありがたい。町民の興味や動向を探りながら、発想を駆使して事業を継続してほしい。